

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)照葉1丁目計画賃貸棟 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40	-	-	3.1
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	-	-	
2 温熱環境						2.6	0.35	3.1	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.3	0.50	
1 室温						3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能		日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当。				3.0	0.38	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.4	0.25	2.8	1.00	2.7
3.1 屋光利用						3.0	0.30	2.5	0.30	
1 屋光率						-	-	2.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備						3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.30	
1 屋光制御		カーテンと庇により屋光を制御する。				2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						1.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.6	0.25	4.2	1.00	4.0
4.1 発生源対策						4.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		JIS規格F☆☆☆☆の建築材料を採用する。				4.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.8	0.40	3.8	1.00	3.8
1.1 機能性・使いやすさ						5.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		光ケーブルに対応した通信設備を採用する。				3.0	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たしている。				5.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						-	-	1.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁タイルの補修必要間隔:30年以上とする。				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管・排水管にB以上を採用。				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり					2.8	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.9m以上を確保する。	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		1.0	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			緑の量を確保し、生物環境の保全と創出を図る。	3.0	0.30	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制				4.0	0.20	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.81	5.0	0.50	-	5.0
4 効率的運用				3.5	0.20	-	3.5
集合住宅以外の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価				3.5	1.00	-	
4.1	モニタリング	ガス消費量等の情報表示ができる給湯器リモコンを採用する。	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	3.2
1 水資源保護				3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水			節水型機器を採用している。	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	2.9
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			フライアッシュセメントを採用している。	5.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.20	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			床タイル用接着剤に、有害物質を含まないものを採用。	4.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP値0かつ、GWP値1の発泡ウレタンフォーム断熱材を採用する。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	2.8
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出換算スコア:3.3	3.3	0.33	-	3.3
2 地域環境への配慮				2.1	0.33	-	2.1
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				1.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースを確保している。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を設置しない。	3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	